

令和8年度 一般会計当初予算案

部局別予算の概要 (抜 粋)

農政水産部

令和8年度 農政水産部 予算額

1 一般会計

(1) 総額

単位 千円

区 分	本 年 度 予 算 額 A	左 の 財 源 内 訳										前 年 度 予 算 額 B	対前年度		
		分担金及び 負担金	使用料及び 手数料	国庫支出金	財産収入	寄 附 金	繰 入 金	諸 収 入	県 債	一 般 財 源	A		-	B	A/B (%)
農政水産部 ①	職員給与費	4,819,978	9,750		40,861	28,851		2,004	23,710	175,745	4,539,057	4,595,833	224,145	104.9	
	事業費	15,811,708	1,167,648	17,856	8,362,041	258,862	2,000	259,022	658,335	2,801,655	2,284,289	18,400,523	△ 2,588,815	85.9	
	計	20,631,686	1,177,398	17,856	8,402,902	287,713	2,000	261,026	682,045	2,977,400	6,823,346	22,996,356	△ 2,364,670	89.7	
県 ②	職員給与費	192,433,203	10,139	4,142,461	23,060,519	31,672		2,296,545	227,646	2,734,738	159,929,483	178,211,353	14,221,850	108.0	
	事業費	489,906,797	1,736,660	3,645,166	51,192,816	1,254,984	510,193	13,607,645	31,341,862	66,661,262	319,956,209	467,988,647	21,918,150	104.7	
	計	682,340,000	1,746,799	7,787,627	74,253,335	1,286,656	510,193	15,904,190	31,569,508	69,396,000	479,885,692	646,200,000	36,140,000	105.6	

(2) 県予算額に占める農政水産部予算額の構成比(①/②)

単位 %

	計	職員給与費	事業費
本 年 度	3.0	2.5	3.2
前 年 度	3.6	2.6	3.9

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
【農政課】 農政企画調整費	38,524 (44,029) 国 7,200 寄 2,000 繰 5,200 ○ 24,124	<p>1 「世界農業遺産」プロジェクト推進事業 21,320 [国、寄、繰、○] (24,530) 世界農業遺産「琵琶湖システム」を最大限活用し、「学ぶ」「食す」「訪れる」を事業の柱とし、琵琶湖システムを知り、体感する機会を提供することにより、県産農水産物の高付加価値化や観光資源としての活用等につなげ、滋賀の農林水産業を健全な姿で次世代に引き継ぐ。</p> <p>①(1) 「びわ湖魚グルメ」地域定着・持続化事業 11,400 [国、寄、○] (-) 生産者と食品関係事業者が連携して取り組む「びわ湖魚グルメ」の自走化に向けた運用支援や、認知度向上に向けた情報発信の強化、さらなる新規メニューの開発や参画事業者の拡大を図る。 〔 「びわ湖魚グルメ」地域定着・持続化事業委託 11,400 委託先：民間 〕</p> <p>①(2) 「琵琶湖システム」つなぐプロジェクト 3,900 [繰] (-) 子ども・若者が実際の農林水産業を体感したり、「琵琶湖システム」に関する学びや取組に関する成果発表を行うイベントを開催することにより、「琵琶湖システム」を次世代へ継承する機運を高める。 〔 「琵琶湖システム」つなぐプロジェクト委託 3,655 委託先：民間 〕</p> <p>①(3) 「琵琶湖システム」フォロワー視点活用発信事業 3,000 [国、○] (-) Instagram フォロワー自身による「琵琶湖システム」に関する投稿を促す企画を行うとともに、フォロワーの投稿を活用して新たなコンテンツを作成したり、様々な媒体で広報したりすることにより、より効果的な情報発信に取り組む。 〔 「琵琶湖システム」フォロワー視点活用発信事業委託 3,000 委託先：民間 〕</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
技術会議費	<p>9,349 (4,372)</p> <p>繰 8,022</p> <p>⊖ 1,327</p>	<p>1 耕・畜・工バイオマスエネルギー利用等CO₂ネットゼロ 実装加速化事業 8,322 [繰、⊖] (3,495)</p> <p>資源の地域内循環やエネルギーの地産地消に向けて、県内におけるバイオマスを原料とするエネルギーの利用を推進するため、現地実証や導入に向けた調査研究を行う。</p> <p>(1) バイオマスエネルギー利用検討促進補助金 3,000 [繰] (2,857) バイオガス生成時の副産物利用の実証や、エネルギー作物の試験的導入の検討に要する経費を補助する。 〔補助率：1/2 補助対象：市町〕</p> <p>② バイオマス副産物にかかる先進技術調査研究業務委託 2,000 [繰] (-) 地域のエネルギーの地産地消や環境負荷低減などの課題に対する調査・研究を行う。 〔バイオマス副産物にかかる先進技術調査研究業務委託 委託先：民間等 2,000〕</p>
<p>【みらいの農業振興課】</p> <p>マーケティング戦略 推進事業費</p>	<p>36,677 (53,865)</p> <p>国 22,500</p> <p>⊖ 14,177</p>	<p>1 しがの農畜水産物マーケティング戦略推進事業 6,418 [⊖] (2,192)</p> <p>滋賀県産農畜水産物の消費拡大およびブランド力向上を目的に総合的なPR活動を推進する。併せて滋賀県農畜水産物等輸出促進協議会等の運営経費の一部を負担し、本県農畜水産物等の海外展開を支援する。</p> <p>② みんなで伝える滋賀食材！つながり育む魅力創造強化事業 13,000 [国、⊖] (-) 県内外の意欲ある事業者と県内生産者の協働を促進し、滋賀県食材を活用した新たな取組、付加価値の向上、消費者への発信などを支援し、滋賀県食材の消費拡大と、利活用に取り組む人と地域の輪の拡大につなげる。 〔みんなで伝える滋賀食材！つながり育む魅力創造強化事業委託 委託先：民間 13,000〕</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
<p>地産地消推進・流通促進事業費</p>	<p>34,624 (139,877)</p> <p>国 19,370</p> <p>繰 800</p> <p>⊖ 14,454</p>	<p>⑨ ⑩ 1 想いを届け、地域で育てる地産地消推進事業 12,000 [国、⊖] (-) 地域の生産者や関係機関が連携し、農産物の生産拡大や利用促進、食育の取組を支援することにより、地場農産物への理解と関心を高め、将来にわたり持続する地産地消の仕組みを作る。</p> <p>2 農山漁村発イノベーション支援事業 12,370 [国] (123,345) 人材育成研修や専門家派遣等を行い、地域資源を活用した新商品開発や販路開拓等の取組をサポートし、農林漁業者等の所得向上や地域での雇用拡大を図る。</p> <p>〔 農山漁村発イノベーション等支援業務委託 12,154 〕 委託先：民間</p>
<p>農地流動化促進対策費</p>	<p>209,619 (207,093)</p> <p>国 83,326</p> <p>財 1,487</p> <p>繰 90,926</p> <p>⊖ 33,880</p>	<p>1 農地集積・集約化推進事業 90,926 [繰] (96,954) 農地中間管理機構（(公財)滋賀県農林漁業担い手育成基金）を通じた農地の集積・集約化に協力する地域に助成する。</p> <p>2 農地中間管理事業推進費 117,206 [国、⊖] (109,594) 農地中間管理機構の活動を支援し、担い手への農地の集積・集約化を促進する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
しがの担い手育成総合事業費	358,298 (376,166)	地域農業を支える先進農業者や集落営農組織、新規就農者の確保・育成対策を総合的に実施する。
	国 81,750	1 先進農業者総合支援事業 16,046 [国、⊖] (16,046)
	繰 772	先進農業者の高度な経営課題を解決するための研修会や専門家と連携した伴走支援を行い、雇用型農業法人としての経営発展や円滑な経営継承を図る。
	諸 221,588	(1) 担い手育成・経営継承支援事業 8,300 [⊖] (8,300) 雇用型農業法人としての経営発展や円滑な経営継承の推進に係る経費を補助する。 〔補助率：定額 補助対象：(一社)滋賀県農業会議〕
	⊖ 54,188	2 新規就農者確保事業費 245,438 [諸、⊖] (263,200) 地域における新規就農者の受け入れ体制の構築や、次世代を担う農業者となることを志す者に対し、就農前の研修段階から就農直後の経営確立に資する資金を交付する等の支援により、新規就農者の確保・定着を図る。 (1) 経営開始型農業次世代人材投資事業 9,850 [諸] (34,750) 経営を安定化させるための資金を最長5年間交付する。 (令和3年度までの継続対象者) 〔補助率：定額 補助対象：市町〕 (2) 新規就農者育成総合対策事業 235,588 [諸、⊖] (228,450) 就農準備資金・経営開始資金の交付、経営発展のための機械施設の導入、新規就農者の誘致環境整備の取組に係る経費を補助する。 〔補助率：3/4等 補助対象：(公財)滋賀県農林漁業担い手育成基金、市町等〕

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
		<p>⑨ ③ 地域農業と企業等の連携支援事業 3,500 [○] (-)</p> <p>農業に参画したい企業等からの一次相談窓口を設置し、企業からの多様な相談内容について連携先を検討し、地域農業と企業等の連携を円滑にすすめることで、農業、農山村を支える多様な人材の確保につなげる。</p> <p>[地域農業と企業等の連携支援事業業務委託 3,500 委託先：(一社)滋賀県農業会議]</p> <p>⑨ ④ つながり、つづく、みんなで守る地域農業推進事業 12,275 [国、繰、○] (-)</p> <p>市町農政主務課、農業委員会、JAおよび担い手等からなる(仮)地域農業推進会議を市町に設置し、持続可能な地域農業の実現に向けて検討された内容に対して市町へ助成し、地域農業の維持・発展を図る。</p> <p>[補助率：定額、1/2 補助対象：市町]</p>
<p>経営所得安定対策等 推進事業費</p>	<p>328,627 (152,661)</p> <p>国 316,795</p> <p>繰 3,265</p> <p>○ 8,567</p>	<p>1 経営所得安定対策等推進事業 328,627 [国、繰、○] (152,661)</p> <p>担い手の農業経営の安定等を目的として実施される経営所得安定対策等を円滑に推進するとともに、水田フル活用の実践による農業所得の向上・最大化等の産地の主体的な生産活動の定着を図る。</p> <p>(1) 麦類生産技術向上事業 168,340 [国] (-)</p> <p>麦の増産を目指す産地に対し、施肥・防除体系の構築等を支援する。</p> <p>[補助率：定額 補助対象：生産者団体等]</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
農業改良普及活動事業費	<p>53,093 (47,572)</p> <p>国 28,561</p> <p>諸 1,500</p> <p>⊖ 23,032</p>	<p>1 農福連携推進事業 12,505 [国、⊖] (2,255) 農福連携のさらなる拡大を図るため、農業者と福祉事業者等とのマッチングを進めるとともに、しがの農×福ネットワーク等を通じた交流会や農作業スキル講座等の開催、施設整備等の支援を行う。</p> <p>{ 補助率：定額、1/2 補助対象：農業法人等 }</p> <p>{ 農福マッチング等推進業務委託 2,223 委託先：(特非)滋賀県社会就労事業振興センター }</p> <p>2 北部の農業推進プロジェクト 11,000 [⊖] (20,000) 湖北地域で新規就農者の増加を図るため、農地集約やスマート農業技術の活用等を行う生産効率の高い土地利用型モデル育成や、イチゴ市場出荷型産地などの形成に向けた施設・資機材の導入経費の補助等を行う。</p> <p>{ 湖北地域雇用促進イベント開催業務委託 1,000 委託先：民間 }</p> <p>3 オリーブで高島地域活性化プロジェクト 5,500 [⊖] (5,500) 高島市の農業に魅力を感じ、農業の支え手となる関係人口の増加を図るため、「高島オリーブ」の特産化およびオリーブをきっかけに果樹園に人を呼び込む仕組みづくりを行う。</p> <p>④ ④ 4 미래のアグリキャリアパス構築事業 4,700 [国、⊖] (-) 農業高校から農業大学校を経て農業法人へ就職するキャリアパスを構築するために、農業大学校において、農業高校と連携したキャリアデザイン教育の導入や、就職就農に向けたカリキュラムの強化を行う。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
産地競争力の強化対策費	384,902 (244,691)	<p>1 産地競争力の強化対策事業 384,499 [国] (244,288)</p>
	国 384,499	<p>担い手の経営発展および産地の生産基盤の強化を推進するため、担い手・産地の発展の状況に応じて、必要なスマート農機等の農業用機械・施設の導入等を支援する。</p>
	⊖ 403	<p>(1) 強い農業づくり総合支援事業 158,803 [国] (118,000)</p> <p>地域農業の中心的役割を担う農業法人等による産地の基幹施設の導入に係る経費を補助する。</p> <p>[補助率：1 / 2等 補助対象：農業者の組織する団体等]</p> <p>(2) 農地利用効率化等支援事業 135,696 [国] (117,000)</p> <p>地域計画の目標地図に位置づけられた者等が、地域が目指すべき農地利用の姿の実現に向けて経営を改善する場合、必要な機械・施設の導入に係る経費を補助する。</p> <p>[補助率：3 / 10 補助対象：農業者等]</p> <p>(3) スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート事業 90,000 [国] (-)</p> <p>作業受託等のサービスの提供に係るニーズ調査等の経費やスマート農業機械等の導入に係る経費を補助する。</p> <p>[補助率：定額、1 / 2 補助対象：サービス事業者]</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
しがの水田フル活用 総合対策事業費	50,215 (305,700)	1 「オーガニックといえば滋賀」ブランド化推進プロジェクト 10,300 [国、繰、⊖] (23,816)
	国 24,250	オーガニック農業の拡大の柱である「きらみずき」の取組拡大と情報発信の強化により「オーガニックといえば滋賀」という産地ブランドの確立を目指す。
	繰 4,150	
	⊖ 21,815	(1) 「きらみずき」みんなでブランド化生産拡大事業 5,300 [繰、⊖] (9,020)
		栽培技術の向上、水田除草機やドローン等のスマート農機の導入支援や付加価値のPR等の生産拡大やブランド化を進める取組等に係る経費を補助する。 [補助率：定額、3/10 補助対象：近江米振興協会、生産者団体等] ⑨(2) オーガニック近江米等プロモーション事業 5,000 [国、⊖] (-) 首都圏や京阪神における「きらみずき」の情報発信を強化するため、展示会への参加や米販売事業者を対象とした産地ツアー等の実施に係る経費を補助する。 [補助率：定額 補助対象：近江米振興協会]

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
		<p>⑨ 2 水稻高温耐性品種生産体制強化事業 6,383 [国、⊖] (-)</p> <p>「近江米生産・流通ビジョン」(第3期)の実現に向け、高温耐性品種への転換と需要に応じた生産を進め、近江米の生産力の強化と力強い本県農業の体制づくりを目指す。</p> <p>(1) 高温耐性品種の生産体制強化支援事業 3,500 [国、⊖] (-)</p> <p>気候変動下でも安定した生産が可能な「滋賀82号」を中心とした高温耐性品種について、生産体制・集荷体制の強化および実需者評価の向上による販売体制の強化や種子の確保に係る経費を補助する。</p> <p style="text-align: center;">〔 補助率：定額、1/2 補助対象：JAや地域の集荷業者 〕</p> <p>⑨ ③ 3 酒米新品種を活用した近江の地酒振興プロジェクト 1,600 [⊖] (-)</p> <p>気候変動下でも安定した生産が可能な酒米の新品種「滋賀85号」について安定生産に向けた栽培技術の確立を図るとともに、実証栽培や種子生産等の取組に係る経費を補助する。</p> <p style="text-align: center;">〔 補助率：定額 補助対象：JA 〕</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
園芸特産振興対策費	70,644 (84,875)	<p>① ② 1 「みおしずく」流通体制強化事業 12,000 [国、①] (-)</p>
	国 30,516	<p>県域での市場出荷型産地として届ける力を強化するため、生産者組織と関係機関が連携したコールドチェーンの整備や流通経路の見直し等の取組を支援する。</p>
	繰 4,754	
	① 35,374	<p>[補助率：定額、1/2 補助対象：滋賀県園芸農産振興協議会等]</p>
		<p>2 しがの園芸産地次世代拠点づくり事業 32,200 [国、①] (25,100)</p> <p>本県の都市近郊の立地を生き、消費者や実需者のニーズに応え、園芸品目を安定供給できる大規模産地の育成を図るとともに、既存産地の維持・活性化に向けた取組を支援し、次世代の中核となる滋賀の園芸産地の拠点を構築するため、産地育成のロードマップ作成やその実践に必要な経費を補助する。</p> <p>[補助率：定額等 補助対象：農業者の組織する団体等]</p> <p>3 「近江の茶」グローバル産地づくり支援事業 4,454 [繰] (3,994)</p> <p>競争力のある「近江の茶」の新たな商品開発に資するオーガニック茶栽培技術を確立し、輸出向け産地の育成を図る。</p> <p>(1) 産地ブランド創出による輸出産地づくり 1,000 [繰] (1,000)</p> <p>競争力のある商品の開発で茶農家の経営安定を図るため、産地が実施する現地調査や輸出計画に基づく販路の検討に必要な経費を補助する。</p> <p>[補助率：定額 補助対象：(一社)滋賀県茶業会議所]</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
		<p>④ 4 茶育ではぐくむ「近江の茶」消費拡大支援事業 13,516 [国] (-)</p> <p>学校教育現場での、若い世代に「近江の茶」の美味しさや歴史、お茶を楽しむ習慣等を伝える茶育の取組を推進するための経費を補助することにより、茶の消費拡大につなげる。</p> <p>〔 補助率：定額 補助対象：(一社)滋賀県茶業会議所 〕</p>
<p>獣害対策推進プロジェクト事業費</p>	<p>114,981 (46,467)</p> <p>国 114,050</p> <p>繰 315</p> <p>⊖ 616</p>	<p>野生獣による農作物等の被害に対し、市町や関係団体と連携し、地域に応じた対策の推進により被害の軽減を図る。</p> <p>1 みらいにつなぐ獣害対策体制強化事業 114,428 [国、繰、⊖] (45,914)</p> <p>野生獣による農作物被害を抑えるため、省力的・効果的な対策技術の実証や獣害対策指導者の人材育成、市町が行う取組への支援により、一体的な対策を推進する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
環境こだわり農業推進事業費	484,899 (522,476) 国 338,566 繰 2,000 〇 144,333	<p>環境保全型農業直接支払交付金を活用し、環境こだわり農業の取組を支援するとともに、オーガニック農業をより一層推進するため、産地育成に向けた体制整備やモデル地区の創出に取り組む。</p> <p>1 環境こだわり農業支援事業 441,823 [国、〇] (474,520)</p> <p>(1) 環境保全型農業直接支払交付金事業 416,619 [国、〇] (450,327)</p> <p>環境こだわり農業の実践に加え、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動の取組に係る経費を補助する。</p> <p>[補助率：3/4 補助対象：市町]</p> <p>2 オーガニック農業推進総合対策事業 37,920 [国、繰] (39,500)</p> <p>オーガニック農業をより一層推進するため、畑作物等の技術確立や普及拡大を促進するとともに、モデル地区創出を目指す市町やオーガニック栽培に取り組む農業者を支援する。</p>
農業生産環境対策事業費	11,467 (12,323) 国 6,725 使 464 繰 700 諸 500 〇 3,078	<p>持続可能な農業の普及を図るため、農業系廃プラスチック対策、土づくりによる化学肥料の使用低減、農薬の効率的・適正な使用、外来水生生物対策等を総合的に推進する。</p> <p>1 環境と調和のとれたみらいの農業推進事業 7,200 [国、繰、〇] (8,050)</p> <p>温室効果ガス削減に向けた「緩和策」と、温暖化による環境変化への「適応策」を進めつつ、琵琶湖を中心とした環境と調和のとれた農業の普及推進を図るため、農地土壌への炭素貯留促進やプラスチックレス肥料の普及、温暖化に伴い増加する病害虫等への対策技術の確立に取り組む。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
【農業技術振興センター】 試験研究調査指導費	28,286 (27,579)	<p>生産現場が抱える課題や行政施策推進上の課題の解決に向けた研究開発を行う。</p> <p>1 環境研究部試験研究事業費 1,487 [⊖] (1,487)</p> <p>(1) 温暖化と地力低下に対応したデータ活用による水稻の施肥診断技術と施肥法の開発 1,094 [⊖] (1,094)</p> <p>温暖化と地力低下に対応するため、ほ場の地力や気象データから、水稻の最適施肥量を算出する計算シートと、地力の簡易評価法を開発する。また、省力的な新しい施肥法を評価・開発する。</p> <p>2 花・果樹研究部試験研究事業費 1,430 [財、⊖] (1,430)</p> <p>(1) 新規栽培者のためのブドウ・ナシ省力樹形における栽培管理技術の指標化 760 [財、⊖] (760)</p> <p>ブドウでは、施肥量や炭化枝投入量の指標化に向けた栄養診断技術、土壌改善方法を検討する。ナシでは、局所施用による施肥量の削減等、栽培管理の指標化に向けた樹形管理および多収技術を検討する。</p>
	財 21,682	
	諸 1,638	
	⊖ 4,966	

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
<p>【畜産課】</p> <p>畜産環境保全対策費</p>	<p>1,967 (1,967)</p> <p>⊖ 1,967</p>	<p>1 県産飼料用稲わら利用拡大事業 1,550 [⊖] (1,550)</p> <p>県内産の稲わらの飼料としての利用拡大を図るため、稲わら収集が行われていない水田における耕畜連携による収集拡大に向けた取組に対して補助する。</p> <p>[補助率：定額、1/2 補助対象：農業協同組合等]</p>
<p>畜産経営技術指導費</p>	<p>74,368 (315,856)</p> <p>国 66,450</p> <p>繰 1,768</p> <p>⊖ 6,150</p>	<p>1 畜産のみらいを担う農業高校学び支援プロジェクト 1,768 [繰] (1,706)</p> <p>農業高校の生徒等に対して、学校以外での生産技術等の学びの場の提供、獣医師職員による技術支援等、多様な学び・体験する機会を創造する取組を行う。</p> <p>2 畜産経営緊急支援事業 66,450 [国] (72,000)</p> <p>生産コストの高騰による影響を大きく受けている和牛繁殖雌牛飼養農家および酪農家に対し、経営の継続および生産基盤の維持を図るための補助を行う。</p> <p>[補助率：定額 補助対象：全国農業協同組合連合会滋賀県本部等]</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
肉用牛振興対策費	422,739 (195,818)	肉用牛の生産基盤の拡充を図るとともに、牛肉の品質向上と安定供給を促進し、肉用牛経営の維持・安定を図る。
	国 309,818	1 キャトル・ステーション運営費 99,086 [財、⊖] (116,809)
	財 97,685	近江牛の地域内一貫生産体制の強化を図るため、子牛の哺育・育成を担う生産拠点施設(キャトル・ステーション)を運営する。
	諸 3,267	
	⊖ 11,969	2 “三方よしの近江牛生産” みらいへつなぐ近江牛振興事業 2,045 [⊖] (6,440) 将来にわたり選ばれる近江牛であり続けるために、牛よし、人よし、社会よしの三方よしの近江牛生産の取組を推進し、消費者ニーズに対応した近江牛の生産基盤強化を図るため、繁殖雌牛の改良に向けた取組等に対して補助する。 〔 補助率：定額、1／2 補助対象：「おうみ」和牛繁殖協議会 〕

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
		<p>③ 産官学で食味向上を目指す近江牛生産プロジェクト 7,500 [国、諸、⊖] (-) 食味の高い近江牛生産の推進に必要なデータベースを構築するため、枝肉のオレイン酸含有率の測定を実施するとともに、繁殖牛の遺伝的能力を把握する遺伝子検査に対して補助する。</p> <p>{ 補助率：1/2 補助対象：生産者団体 }</p> <p>4 肉用牛肥育経営安定緊急対策事業 30,483 [国] (66,499) 肉用牛肥育経営安定交付金制度において、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に差額の9割が補てんされる肥育経営安定交付金に対し上乗せ補助を実施することにより、肉用牛肥育農家の経営継続を支援する。</p> <p>{ 補助率：標準的販売価格と標準的生産額の差額の5/100 補助対象：(一社)滋賀県畜産振興協会 }</p> <p>5 近江牛肥育素牛導入緊急支援事業 278,272 [国] (-) 近江牛の枝肉価格が軟調に推移しているとともに、素牛価格が高騰しており、厳選した肥育素牛の導入が難しくなっていることから、近江牛のブランド力を維持するため、肥育素牛の導入に対して奨励金を交付する。</p> <p>{ 補助率：定額 補助対象：全農滋賀県本部、滋賀県家畜商業協同組合 }</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
家畜畜産物流通対策費	279,296 (188,856)	1 近江牛学校給食等提供事業 180,000 [国] (163,000)
	国 274,030	県内の学校給食実施校等に、近江牛を食材として提供する取組に対して補助する。
	使 16	〔 補助率：定額 補助対象：県内食肉関係事業者 〕
	繰 5,200	2 子ども・若者への近江牛食育推進事業 5,200 [繰] (5,200)
	⊖ 50	大学や近江牛生産流通団体等が行う、子ども・若者が近江牛について学び、知る機会を提供する活動に対して補助する。 〔 補助率：定額 補助対象：大学、近江牛生産流通団体等 〕 3 近江牛インバウンド消費拡大推進事業 24,530 [国] (18,590) 京阪神エリアの訪日客利用の多いホテル・飲食店と県内の近江牛生産者・近江牛流通事業者との継続的な関係構築を図り、近江牛の魅力を発信することにより、県外および国外における近江牛ファンの拡大と近江牛の需要の喚起を図る。 〔 近江牛インバウンド消費拡大推進事業委託 24,530 委託先：民間 〕 ④ 県産牛乳の学校給食消費促進事業 69,500 [国] (-) 県内の学校給食において、牛乳のない給食提供日を減らすため、県産牛乳を提供する取組に対して補助する。 〔 補助率：定額 補助対象：学校給食用牛乳を供給する事業者 〕

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
酪農振興対策費	<p>10,885 (11,266)</p> <p>⊖ 10,885</p>	<p>1 乳用牛ベストパフォーマンス実現支援事業 6,807 [⊖] (9,160)</p> <p>高能力な乳用牛群の整備や酪農経営継続に向けた取組に対して支援を行う。</p> <p>(1) 乳用後継牛確保推進事業 2,160 [⊖] (5,280)</p> <p>高能力な乳用牛の整備に対して補助する。</p> <p>[補助率：定額 補助対象：全国農業協同組合連合会滋賀県本部]</p> <p>(2) 酪農経営継続支援事業 4,475 [⊖] (2,630)</p> <p>疾病予防対策や暑熱対策・経営継続へ向けた施設・機器の点検・修繕に必要な経費に対して補助する。</p> <p>[補助率：1/4 補助対象：滋賀県酪農経営者協議会]</p> <p>② 酪農ヘルパー利用推進事業 2,116 [⊖] (-)</p> <p>酪農家の休日や傷病時の作業代替を確保するため、酪農ヘルパーの利用促進を図る取組に対して補助する。</p> <p>[補助率：1/4 補助対象：全国農業協同組合連合会滋賀県本部]</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
食肉流通機構整備推進費	1,203,358 (646,048)	<p>1 食肉流通機構整備推進事業 1,192,488 [国、諸、起、⊖] (637,714)</p> <p>衛生的・効率的な食肉の生産流通施設である滋賀食肉センターの円滑な運営が図られるよう業務運営主体等の取組を支援することで、消費者に対し安全で安心な食肉を安定的に供給するとともに、近江牛をはじめとする本県畜産の振興を図る。</p>
	国 19,530	
	諸 240,000	
	起 520,000	
	⊖ 423,828	
		<p>(1) 滋賀食肉公社“安全・安心”食肉流通促進および施設整備等事業 913,761 [起、⊖] (343,764)</p> <p>滋賀食肉センターの施設設備の機能維持および衛生管理に必要な経費等に対して補助する。</p> <p>(2) (株)滋賀食肉市場経営円滑化資金貸付 240,000 [諸] (250,000)</p> <p>経営の円滑化を図るために必要な運転資金の一部を貸し付ける。</p> <p>(3) (公財)滋賀食肉公社経営円滑化資金貸付 18,300 [⊖] (24,300)</p> <p>経営の円滑化を図るために必要な運転資金の一部を貸し付ける。</p> <p>(4) 滋賀食肉センター原油価格高騰緊急支援事業 19,530 [国] (18,753)</p> <p>滋賀食肉センターにおける電気代および灯油代の増高分に対して補助する。</p> <p>2 滋賀食肉センターあり方検討事業 10,870 [⊖] (8,334)</p> <p>将来にわたって、安全安心な食肉の安定的な供給、近江牛ブランドの更なる発展への寄与、公平・公正かつ効率的で持続可能な運営ができる滋賀食肉センターとしていくため、センターのあり方の見直しに向け、関係者等との協議、検討を行う。</p> <p>〔 滋賀食肉センターあり方検討アドバイザー業務委託 〕 委託先：民間 10,456</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
<p>【家畜保健衛生所】</p> <p>家畜防疫費</p>	<p>27,119 (39,246)</p> <p>国 19,073</p> <p>使 1,559</p> <p>⊖ 6,487</p>	<p>1 家畜防疫緊急対策費 15,556 [国、使、⊖] (28,847)</p> <p>豚熱、アフリカ豚熱の発生およびまん延防止のため、飼養豚への豚熱ワクチン接種、野生イノシシの感染確認検査を実施するとともに、防疫体制を確立するため、防疫演習等を実施する。</p>
<p>【畜産技術振興センター】</p> <p>育成牧場運営費</p>	<p>65,429 (74,067)</p> <p>財 56,917</p> <p>⊖ 8,512</p>	<p>1 高品質近江牛づくり推進事業 44,088 [財、⊖] (51,786)</p> <p>畜産技術振興センターに高能力な繁殖牛群を整備し、高品質な雌子牛や和牛胚を生産して、畜産農家に譲渡することで、県内の黒毛和種繁殖牛の能力向上と増頭を図る。</p>
<p>試験研究調査費</p>	<p>46,344 (41,692)</p> <p>財 32,308</p> <p>繰 13,986</p> <p>諸 50</p>	<p>1 飼料自給率向上に向けた黒毛和種肥育における代替飼料の活用方法の検討に関する研究 23,843 [財、繰] (19,186)</p> <p>輸入飼料価格の高騰や定時・定量の飼料確保が危ぶまれる状況を踏まえ、飼料自給率の向上を図るため、黒毛和種肥育牛について新たに国内製造できる未利用資源を活用した、飼料給与方法を検討する。</p> <p>② 生米ぬか給与の黒毛和種繁殖雌牛における繁殖成績への効果に関する研究 8,251 [財、繰] (-)</p> <p>効率的な近江牛生産を図るため、黒毛和種繁殖雌牛について、ビタミンやミネラルを豊富に含む生米ぬかの活用による繁殖成績の向上効果について検討する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
<p>【水産課】</p> <p>水産振興企画調査調整費</p>	<p>19,074 (16,495)</p> <p>国 5,000 使 2,246 財 2,457 ⊖ 9,371</p>	<p>1 漁と魚と料理を堪能できる北の近江プロジェクト 11,000[国、⊖] (10,600)</p> <p>北の近江地域の水産業に携わる担い手を中心となって行う、旬の湖魚を堪能する催事など、地域の魅力を活かした取組を支援し県北部地域の活性化を図る。</p> <p>〔 漁と魚と料理を堪能できる北の近江プロジェクト委託 委託先：民間 10,000 〕</p>
<p>流通対策費</p>	<p>61,480 (39,400)</p> <p>国 47,640 ⊖ 13,840</p>	<p>1 水産業養殖用配合飼料価格高騰緊急対策事業費 13,700 [国] (13,400)</p> <p>養殖用配合飼料価格の高騰による養殖業者の負担を軽減するため、国が実施する漁業経営セーフティーネット構築事業への養殖業者積立金の一部を支援する。</p> <p>〔 補助率：1／2 補助対象：滋賀県漁業協同組合連合会 〕</p> <p>2 湖魚食材物価高騰緊急対策事業 20,100[国] (16,000)</p> <p>物価高騰の影響を受けている湖魚食材を大学・企業の食堂等に提供することで、湖魚を食べる機会を提供するとともに、関係事業者の収益確保と生産・供給体制の維持を図る。</p> <p>〔 湖魚食材消費応援事業委託 20,100 委託先：民間 〕</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
		<p>③ 挑3 企業等との新結合による湖魚の供給・消費システム化事業 27,680[国、⊖] (-)</p> <p>(1) 湖魚需要促進システム化事業 6,250[国、⊖] (-) 地域の企業等に対して、湖魚の保全と学習から食文化まで一貫した活動と呼び掛けるとともに、これらの取組を発信する。</p> <p>〔 地域企業との新結合による湖魚需要システム化推進委託 委託先：民間 5,000 地域貢献活動促進 WEB サイト拡充委託 1,250 委託先：民間 〕</p> <p>(2) 湖魚供給・消費システム安定化事業 6,480[国、⊖] (-) 新漁協の広域性を活かした供給システム基盤の確保と、企業等の新たな需要に応える供給体制の確立を支援する。</p> <p>〔 補助率：1/2 補助対象：滋賀県漁業協同組合連合会 〕</p> <p>(3) 自然とつながる湖のしごと実践支援事業 14,950 [国、⊖] (-) 新漁協を核とした組織的な受け入れ体制の構築と、次世代の漁業者による市場ニーズに応える漁獲と出荷手法をOJT方式で実践する。</p> <p>〔 自然とつながる湖のしごと実践支援事業委託 14,950 委託先：滋賀県漁業協同組合連合会 〕</p>
水産有害生物対策事業費	<p>25,454 (25,088)</p> <p>⊖ 25,454</p>	<p>1 有害外来魚ゼロ作戦事業費 22,467[⊖] (22,467)</p> <p>オオクチバスやブルーギルのさらなる抑制のため、またチャネルキャットフィッシュの急激な増加を防ぐため、効率的な駆除事業を展開する。</p> <p>(1) 外来魚駆除促進対策等事業 21,487[⊖] (21,487) 漁業者が行う外来魚の駆除に要する経費や駆除された外来魚を回収し、適正に処理を行う経費を補助する。</p> <p>〔 補助率：1/2等 補助対象：滋賀県漁業協同組合連合会 〕</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
多様で豊かな湖づくり推進事業費	104,424 (84,674)	<p>1 アユ等水産資源維持保全事業費 45,034 [諸、⊖] (44,272)</p>
国	13,557	産卵用人工河川にアユ親魚を放流し、仔魚を効果的に琵琶湖へ流下させることで、アユ資源の安定維持を図る。
線	19,990	<p>人工河川管理運用委託 37,696 委託先：(公財)滋賀県水産振興協会</p>
諸	9,606	
⊖	61,271	<p>② アユ産卵用人工河川の気候変動適応化技術開発事業 19,990[線] (-) 人工河川から流下したアユ仔魚の動態や生育環境を調査することで、気候変動下での人工河川の現状と課題を把握し、効果的な運用方法を明らかにする。</p> <p>アユ早期放流人工河川管理運用委託 12,390 委託先：(公財)滋賀県水産振興協会</p> <p>人工河川水動態調査委託 5,600 委託先：民間</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>
③		<p>③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
<p>養殖漁業振興事業費</p>	<p>5,966 (6,766)</p> <p>国 2,500</p> <p>⊖ 3,466</p>	<p>①1 ビワマス湖中養殖推進プロジェクト 5,000 [国、⊖] (5,800)</p> <p>ビワマス湖中養殖の確立に向け、飼育技術開発とブランド化を目指す。</p> <p>②(1) ビワマス湖中養殖技術確立事業 2,500[国、⊖] (-)</p> <p>市場ニーズに沿う品質確立に向けた飼育実証を行う。</p> <p>〔ビワマス湖中養殖技術確立委託 2,500〕 委託先：西浅井漁業協同組合</p> <p>②(2) 養殖ビワマス市場調査事業 2,500[国、⊖] (-)</p> <p>品質、規格、価格帯等に関する市場調査を実施する。</p> <p>〔養殖ビワマス市場調査委託 2,500〕 委託先：民間</p>
<p>琵琶湖漁業再生ステップアッププロジェクト事業費</p>	<p>36,682 (24,158)</p> <p>国 595</p> <p>⊖ 36,087</p>	<p>1 漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業 36,682 [国、⊖] (24,158)</p> <p>漁業者や地域住民を中心とした活動組織が行う漁場環境改善(湖底や河床の耕耘、清掃活動、外来魚駆除等)を支援することで、漁場生産力の維持・回復を図る。</p> <p>(1) 多面的機能強化対策事業 36,087[⊖] (23,563)</p> <p>琵琶湖等での水産資源回復や漁場再生を図るため、漁業者を中心とした活動組織の漁場環境改善活動に要する経費を補助する。</p> <p>〔補助率：3/10〕 〔補助対象：滋賀県水産多面的機能発揮協議会〕</p> <p>(2) 多面的機能強化対策指導事業 595[国] (595)</p> <p>漁場環境改善活動を行う活動組織の指導経費の補助等を行う。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
<p>【水産試験場】</p> <p>運営費</p>	<p>233,081 (164,248)</p> <p>使 205</p> <p>財 643</p> <p>繰 60,193</p> <p>諸 20</p> <p>起 133,000</p> <p>⊖ 39,020</p>	<p>長1 庁舎整備費 194,739[繰、起、⊖] (89,438)</p> <p>公共施設等マネジメント基本方針や更新・改修方針に基づき県有施設の整備を実施する。</p> <p>(1) 水産試験場庁舎整備事業 59,163[繰] (85,700) 水産試験場本館等建替整備について、コンストラクション・マネジメント（CM）方式を活用し、デザイン・ビルド（DB）方式による事業者選定および基本設計業務を行う。</p> <p>[債務負担行為] 期 間：令和9年度 限度額：21,430 内 容：実施設計支援業務（CM方式）</p> <p>[債務負担行為] 期 間：令和9年度から令和11年度まで 限度額：2,749,225 内 容：設計・建築・解体工事（DB方式）</p> <p>(2) 醒井養鱒場改修事業 9,452[⊖] (-) 醒井養鱒場の老朽化施設の改修のため、場内の敷地測量や餌付・飼育池上屋の設計業務を行う。</p> <p>[債務負担行為] 期 間：令和8年度から令和9年度まで 限度額：36,218 内 容：改修工事</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
試験研究調査費	21,324 (23,886) 国 6,527 諸 641 ⊖ 14,156	水産行政が直面する重要課題の中で、特に技術的解明が急がれる事項について、重点的かつ積極的に調査研究を行う。 1 琵琶湖の漁場生産力の評価および回復に関する技術開発研究 4,327[⊖] (6,915) アユを含む水産資源において成長不良等による資源の不安定化が顕在化しているため、琵琶湖の魚を育む力(=漁場生産力)を評価するとともにその回復手法の検討を行う。
養鱒事業費	35,667 (23,060) 使 389 財 7,867 ⊖ 27,411	① 1 醒井養鱒場 150 周年記念催事推進事業 5,395[⊖] (-) 令和 10 年に迎える醒井養鱒場 150 周年を契機として、魚とのふれあいを通じた学びや体験ができる機能と魅力の向上を図る。 [さかな学習館展示物リニューアル基本設計業務委託 委託先：民間 1,500]
調査指導費	2,279 (1,610) 国 1,000 ⊖ 1,279	① 1 気候変動に適應した特産マス類の利用開発研究 2,279 [国、⊖] (-) 河川漁業の振興と河川漁協の経営安定化に資するため、気候変動に適應した溪流漁場利用法とマス類種苗の開発を行うとともに、漁場管理によるマス類資源の回復技術に関する研究を行う。

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)																																				
<p>【耕地課・農村振興課】</p> <p>土地改良公共事業</p>	<p>7,056,801 (6,715,860)</p> <p>国 4,175,876</p> <p>分 866,712</p> <p>諸 25,000</p> <p>起 1,957,800</p> <p>⊖ 31,413</p>	<p>農地の大区画化や汎用化、農業水利施設の長寿命化、突発事故対策、ため池等の防災・減災対策、農道や集落排水等の整備を実施する。</p> <p>補助公共事業</p> <table border="1" data-bbox="700 616 1437 1541"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>箇所数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県営かんがい排水事業費</td> <td>22</td> <td>2,255,050</td> </tr> <tr> <td>県営経営体育成基盤整備事業費</td> <td>24</td> <td>1,175,395</td> </tr> <tr> <td>県営農道整備事業費</td> <td>2</td> <td>84,630</td> </tr> <tr> <td>県営中山間地域総合整備事業費</td> <td>2</td> <td>74,550</td> </tr> <tr> <td>団体営土地改良事業費</td> <td>108</td> <td>1,074,303</td> </tr> <tr> <td>団体営農村整備事業費</td> <td>10</td> <td>88,339</td> </tr> <tr> <td>県営農地防災事業費</td> <td>39</td> <td>1,869,981</td> </tr> <tr> <td>団体営農地防災事業費</td> <td>25</td> <td>356,003</td> </tr> <tr> <td>県営地すべり防止対策事業費</td> <td>3</td> <td>28,550</td> </tr> </tbody> </table> <p>単独公共事業</p> <table border="1" data-bbox="700 1637 1437 1783"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>箇所数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独小規模土地改良事業費</td> <td>44</td> <td>50,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>内訳については、別紙の事業別予定箇所一覧表のとおり。</p>	事業名	箇所数	予算額	県営かんがい排水事業費	22	2,255,050	県営経営体育成基盤整備事業費	24	1,175,395	県営農道整備事業費	2	84,630	県営中山間地域総合整備事業費	2	74,550	団体営土地改良事業費	108	1,074,303	団体営農村整備事業費	10	88,339	県営農地防災事業費	39	1,869,981	団体営農地防災事業費	25	356,003	県営地すべり防止対策事業費	3	28,550	事業名	箇所数	予算額	単独小規模土地改良事業費	44	50,000
事業名	箇所数	予算額																																				
県営かんがい排水事業費	22	2,255,050																																				
県営経営体育成基盤整備事業費	24	1,175,395																																				
県営農道整備事業費	2	84,630																																				
県営中山間地域総合整備事業費	2	74,550																																				
団体営土地改良事業費	108	1,074,303																																				
団体営農村整備事業費	10	88,339																																				
県営農地防災事業費	39	1,869,981																																				
団体営農地防災事業費	25	356,003																																				
県営地すべり防止対策事業費	3	28,550																																				
事業名	箇所数	予算額																																				
単独小規模土地改良事業費	44	50,000																																				

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
<p>中山間地域等直接支払交付金</p>	<p>351,925 (362,640)</p> <p>国 229,216</p> <p>⊖ 122,709</p>	<p>1 中山間地域等直接支払交付金 319,010 [国、⊖] (326,702)</p> <p>中山間地域等における耕作放棄の発生を防止し農業・農村の多面的機能を確保する観点から、農業生産活動等を行う農業者に対し、交付金を交付する。 〔補助率：3/4、2/3 補助対象：市町〕</p> <p>2 中山間地農業ルネッサンス推進事業 25,833 [国] (29,653)</p> <p>中山間地域等において、地域の特色を活かした創意工夫あふれる取組や複数の集落の機能を補完する農村型地域運営組織(農村RMO)の形成等を支援する。</p> <p>(1) 農村RMO形成支援事業 25,000 [国] (24,820)</p> <p>農村RMOを目指す地域協議会が行う、地域資源の活用等についての調査、計画策定、実証事業等の取組に係る経費を補助する。 〔補助率：定額 補助対象：地域協議会〕</p>
<p>都市農村交流対策事業費</p>	<p>17,568 (11,297)</p> <p>国 2,500</p> <p>繰 4,068</p> <p>⊖ 11,000</p>	<p>1 しがのアグリツーリズム推進事業 4,568 [国、繰] (4,297)</p> <p>世界農業遺産「琵琶湖システム」を活用した農山村滞在型旅行「農泊」を「しがのアグリツーリズム」として推進することにより、農村地域の振興につなげる。 〔しがのアグリツーリズム推進事業委託 3,477 委託先：民間〕</p> <p>2 しがのふるさと応援隊事業 7,000 [⊖] (7,000)</p> <p>都市住民を対象に、地域交流や農作業体験、農村生活体験等、多様な農山村体験プログラムを北部地域で実施することにより、関係人口の創出や二拠点居住・移住・定住を図り、北部振興につなげる。 〔しがのふるさと応援隊事業委託 6,728 委託先：民間〕</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
		<p>③ 農山村観光コンテンツ造成事業 4,000 [⊖] (-) 令和9年秋のデスティネーションキャンペーン(DC)を見据え、農山村地域の観光素材集の作成や、体験・宿泊を紹介している県HPのDC対応整備により、旅行事業者の観光商品造成の促進や農山村地域への誘客につなげ、地域の活性化を図る。</p> <p>[農山村観光コンテンツ造成事業委託 3,996 委託先：民間]</p> <p>④ 棚田×アート魅力発信プロジェクト 2,000 [繰] (-) おいしいお米や魅力的な景観などを有する棚田地域と大学が連携し、アートの力で地域の魅力を発信することで、さらなる関係人口の創出や地域活性化を図る。</p> <p>[棚田×アート魅力発信プロジェクト委託 2,000 委託先：民間]</p>
<p>アセットマネジメント推進対策費</p>	<p>102,686 (59,845)</p> <p>国 66,500</p> <p>⊖ 36,186</p>	<p>1 アセットマネジメント推進対策費 86,948 [国、⊖] (32,304) アセットマネジメントの取組強化に向けた土地改良施設の診断・管理指導や管理に関する苦情・紛争の調停等に対する指導等を行う。</p> <p>(1) 土地改良区機能強化支援事業 84,948 [国、⊖] (30,304) 農業水利施設の保全体制の確立および土地改良区の運営基盤強化を図るため、水土里ビジョンの策定、土地改良区の統合再編、施設・財務管理の強化、受益農地の管理の強化、研修・人材育成等に要する経費を補助する。</p> <p>[補助率：定額 補助対象：滋賀県土地改良事業団体連合会等]</p> <p>(2) 農業水利施設アセットマネジメント推進事業 2,000 [⊖] (2,000) 農業水利施設のアセットマネジメントを巡る情勢の変化へ対応するために滋賀県土地改良事業団体連合会が行うシステムの改修等の取組に係る経費を補助する。</p> <p>[補助率：1/3 補助対象：滋賀県土地改良事業団体連合会]</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
		<p>2 アセットマネジメント管理対策費 15,738 [⊖] (20,784)</p> <p>地すべり防止施設等の土地改良施設のアセットマネジメントを推進し、適切に維持管理するために必要な調査等を実施する。</p>
土地改良施設管理事業費	<p>705,034 (636,268)</p> <p>国 394,730</p> <p>起 10,000</p> <p>⊖ 300,304</p>	<p>1 水利施設管理強化事業費補助金 321,006 [国、⊖] (286,747)</p> <p>農業水利施設の公的な役割が増し、施設管理が複雑・高度化しており、国営およびこれと一体的に造成された県営農業水利施設に対して運営管理に係る経費の一部を補助する。 〔補助率：3/4、3/8 補助対象：土地改良区等〕</p> <p>2 基幹水利施設管理事業費補助金 238,882 [国、⊖] (222,130)</p> <p>国営事業で造成された一定規模以上の基幹的な農業水利施設のうち、市町が管理する施設の維持管理に係る経費の一部を補助する。 〔補助率：19/30、6/10 補助対象：市町等〕</p> <p>3 物価高騰対策土地改良区等支援事業費 59,800 [国] (53,500)</p> <p>電気代の高騰により経営に大きな影響を受けている農業者の負担を軽減するため、土地改良区等におけるポンプ場等の農業水利施設に要する電気代の増高分の一部を補助する。 〔補助率：2/3 補助対象：土地改良区等〕</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
ふるさと・水と土保全 対策費	18,910 (16,332)	1 未来につなぐ中山間支え合いプロジェクト 18,910 [国、財、繰] (16,332)
	国 9,167	中山間地域において持続可能な農村を実現するため、関係機関が一体となった能動的で継続的な支援を行うことにより、農地保全活動の一層の推進と多様な主体との連携・協働活動の深化・拡大を図り、地域活性化につなげる。
	財 6,600	
	繰 3,143	<p>(1) 中山間地域伴走支援事業 5,467 [国] (5,467)</p> <p>市町等関係機関と連携した体制により、地域の現状・課題等の情報共有、課題解決に向けた助言・指導、研修会開催等の支援を行い、地域活性化に向けた取組の継続とステップアップを図る。</p> <p>[中山間地域伴走支援事業委託 5,467] 委託先：民間</p> <p>(2) しがのふるさと支え合いプロジェクト 4,840 [財、繰] (4,383)</p> <p>中山間地域の集落と企業・大学等との交流やマッチングを支援し、両者の連携・協働による地域の活性化を図るとともに、地域と企業との連携を促進することで、地域課題の解決につながる取組を支援する。</p> <p>[中山間ふるさと農村支え合い事業委託 2,631] 委託先：民間</p> <p>(3) 棚田保全ネットワーク推進事業 3,600 [財] (1,774)</p> <p>棚田地域を保全するため、都市のボランティアと棚田地域とのネットワークを構築・推進し、持続的な棚田保全活動を支援する。</p> <p>[棚田保全ネットワーク推進事業委託 3,600] 委託先：民間</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
農村環境保全推進事業費	29,352 (16,850) 国 1,514 繰 1,783 諸 7,000 起 13,000 ⊖ 6,055	<p> 挑 1 豊かな生きものを育む水田づくりプロジェクト 4,812 [国、繰、⊖] (6,510) 魚のゆりかご水田に代表される環境や生きものに配慮した「豊かな生きものを育む水田」の普及拡大および魚のゆりかご水田米の販路拡大に向けた支援を行う。 </p> <p> (1) 魚のゆりかご水田米販売戦略強化事業 1,744 [国、⊖] (1,700) 高付加価値を志向する首都圏の消費者への需要喚起による販売価格の向上および学校や道の駅等への提供など地産地消の推進を図る。 </p> <p> { 魚のゆりかご水田米販売戦略強化事業委託 1,744 委託先：民間 } </p> <p> 新 (2) 魚のゆりかご水田担い手サポート事業 1,285 [国、⊖] (-) 取組の新規立ち上げから維持・定着に至るまでを一貫して支えるサポート体制の充実を図る。 </p> <p> { 魚のゆりかご水田担い手サポート事業委託 1,285 委託先：民間 } </p> <p> 2 農業排水循環利用促進事業費補助金 4,540 [⊖] (4,540) 琵琶湖の水質保全のため、農業水利施設で農業排水を再利用する高度な取組を行う事業主体に対して、掛かり増し経費を補助する。 </p> <p> { 補助率：定額、3/10 補助対象：地域協議会 } </p> <p> 3 愛知川河川環境改善事業 20,000 [諸、起] (5,800) 河川環境の調和と永源寺ダムの維持管理軽減を目的として、ダム湖内の堆砂をダム直下ハ土砂還元を実施する。 </p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
国営土地改良事業費 負担金	469,278 (4,035,361) 国 28,100 分 278,936 起 162,200 ⊖ 42	1 国営土地改良事業費負担金 441,178 [分、起、⊖] (4,035,361) 国営農地再編事業東近江地区の施行に伴う県負担金および、国営かんがい排水事業日野川地区の分担金ならびに国営施設応急対策事業湖北地区の事業完了に伴う分担金を国に納付する。
世代をつなぐ農村ま るごと保全事業費	1,065,803 (1,140,375) 国 724,041 ⊖ 341,762	1 世代をつなぐ農村まると保全向上活動支援交付金 1,025,277 [国、⊖] (1,103,784) 農業・農村の有する多面的機能の適切かつ十分な発揮のため、水路、農道等の日常的な保管理や軽微な補修、農村環境の向上のための取組や老朽化した施設の長寿命化対策等、地域ぐるみの共同保全活動に係る経費の一部を補助する。 [補助率：3/4 補助対象：市町]
農村地域再生可能エ ネルギー活用推進事 業費	11,000 (6,000) 繰 11,000	1 CO ₂ ネットゼロヴィレッジ創造事業 11,000 [繰] (6,000) 農村における再生可能エネルギーの地産地消に取り組む地域の運営組織の整備や活動計画の策定、再生可能エネルギー設備の導入を補助するとともに、これまでの取組の検証と今後の支援のあり方の検討、知見を共有するセミナーを開催し、取組の深化・拡大につなげる。 [補助率：定額、2/3 補助対象：地域協議会等] [CO ₂ ネットゼロヴィレッジモデル地区検証業務委託 委託先：民間 5,000]

事業別予定箇所一覧表

【農政水産部】

単位：千円

事業名	当初予算額	箇所数	箇所名
<p>【土地改良公共事業】</p> <p>県営かんがい排水事業費</p>	2,255,050	22	<p>大津・南部管内</p> <p>草津市（草津用水2期（二期）地区）、守山市（守山南部地区、野洲川下流主幹線地区、野洲川地区、守山幹線地区）、栗東市（野洲川地区）、野洲市（野洲川下流主幹線地区、野洲川地区、守山幹線地区）</p> <p>甲賀管内</p> <p>甲賀市（野洲川地区）、湖南市（野洲川地区）</p> <p>東近江管内</p> <p>近江八幡市（湖東平野1期地区、日野川地区、第2大中の湖地区）、東近江市（湖東平野1期地区、日野川地区、第2大中の湖地区、能登川通信地区）、日野町（日野川地区）、竜王町（日野川地区）</p> <p>湖東管内</p> <p>彦根市（犬上南部地区、愛西西地区、彦根中部通信地区）、愛荘町（湖東平野1期地区）、豊郷町（湖東平野1期地区、彦根中部通信地区）</p> <p>湖北管内</p> <p>長浜市（姉川沿岸地区、山路川地区、長浜南部地区、姉川左岸通信地区、長浜南部通信地区）、米原市（姉川沿岸地区、長浜南部地区、天の川通信地区、長浜南部通信地区）</p> <p>高島管内</p> <p>高島市（安曇川沿岸2期地区、新旭地区）</p> <p>【計画策定】</p> <p>県内全域（2地区）</p>
<p>県営経営体育成基盤整備事業費</p>	1,175,395	24	<p>大津・南部管内</p> <p>大津市（田上地区）、草津市（常盤北地区、馬場・山寺地区）、栗東市（六地藏地区）</p> <p>甲賀管内</p> <p>甲賀市（和野地区）</p> <p>東近江管内</p> <p>東近江市（栗見出在家地区、小倉地区、小脇地区）</p> <p>湖東管内</p> <p>彦根市（南三ツ谷地区、宇尾地区）、愛荘町（秦荘1期地区、愛知川1期地区、秦荘2期地区）</p> <p>湖北管内</p> <p>長浜市（野村地区、横波地区、下草西地区）、米原市（入江善積地区、井之口地区）</p>

事業名	当初予算額	箇所数	箇所名
			高島管内 高島市（新保地区、梅原地区、川上地区、今津東部地区、岸脇地区、上安曇Ⅰ期地区）
県営農道整備事業費	84,630	2	甲賀管内 甲賀市（鹿深Ⅱ地区） 湖東管内 彦根市（湖東彦根地区）
県営中山間地域総合整備事業費	74,550	2	甲賀管内 甲賀市（杉山地区） 湖北管内 長浜市（杉野地区）
団体営土地改良事業費	1,074,303	108	大津・南部管内 大津市（南庄地区、上仰木地区）、草津市（北山田Ⅰ地区、北山田Ⅱ地区、北山田Ⅳ地区、中島Ⅱ地区、北山田畑地地区）、守山市（小浜地区、喜多地区）、野洲市（滋賀県域地区） 甲賀管内 甲賀市（三大寺地区、野洲川Ⅵ地区、野洲川Ⅶ地区、甲賀地区、甲賀Ⅰ地区、甲賀Ⅱ地区、滋賀県域地区）、湖南市（野洲川Ⅵ地区、吉永地区、野洲川Ⅶ地区、岩根西部Ⅰ地区、岩根西部Ⅱ地区、岩根西部Ⅲ地区、岩根西部Ⅳ地区） 東近江管内 近江八幡市（大中の湖地区、馬淵Ⅲ地区、桐原馬淵Ⅱ期地区、石寺地区、岡山揚水機場地区、大中北部揚水地区、安土Ⅴ地区、東老蘇Ⅱ地区、加茂地区、大中東部Ⅱ地区、上田Ⅱ地区、安土町西老蘇地区、加茂町Ⅱ地区、長田Ⅱ地区）、東近江市（大中の湖地区、日野川－Ⅲ地区、山上Ⅲ地区、東近江Ⅲ地区、湖東Ⅵ地区、愛東Ⅴ地区、市原Ⅵ地区、市原Ⅶ地区、愛知川沿岸Ⅳ地区、愛東Ⅵ地区、尻無北部地区、大中の湖Ⅲ地区、三津屋地区、平田地区、伊庭地区）、日野町（日野川－Ⅲ地区、日野Ⅲ地区、日野Ⅳ地区、日野地区、佐久良地区）、竜王町（日野川－Ⅲ地区、日野川そのⅣ地区、岡屋・小口地区、弓削地区） 湖東管内

事業名	当初予算額	箇所数	箇所名
			<p>彦根市（松原7地区、北河瀬地区、松原9-1地区、犬上南部地区、滋賀県域地区）、豊郷町（石畑2地区）、甲良町（正楽寺地区）、多賀町（正楽寺地区、富之尾地区）</p> <p>湖北管内 長浜市（湖北3地区、長浜南部地区、中村川地区、長浜南部2地区、滋賀県域地区）、米原市（堂谷地区、菅江・須川地区）</p> <p>高島管内 高島市（上寺地区、山中地区、石田川1地区、一ノ井地区、辻地区、牧野地区、森西2地区、寺久保地区、滋賀県域地区）</p> <p>【緊急対応】 滋賀（緊急・基幹）地区、滋賀（緊急・末端）地区</p> <p>【調査計画等】 県内全域（25地区）</p>
団体営農村整備事業費	88,339	10	<p>甲賀管内 甲賀市（宮町第2地区）</p> <p>東近江管内 近江八幡市（佐波江地区、大中西部地区）、東近江市（市原東部地区）、日野町（西桜谷第4地区、原第3地区）</p> <p>湖東管内 多賀町（萱原第5地区、佐目第3地区）</p> <p>湖北管内 米原市（小泉棚田地区）</p> <p>高島管内 高島市（牧野地区）</p>
県営農地防災事業費	1,869,981	39	<p>大津・南部管内 大津市（八反池地区、南ヶ谷池地区、月輪大池地区）、草津市（草津用水湖辺地区）、野洲市（宮池地区、新池（大篠原）地区）</p> <p>甲賀管内 甲賀市（西ノ飼戸池地区、佐山頭首工地区）、湖南市（沢池地区、瓢箪池地区、上ノ池地区、姥ヶ谷池地区、田代ヶ池地区、三反田下池地区）</p> <p>東近江管内 近江八幡市（水茎東部地区、加茂地区）、東近江市（土器地区、能登川幹線1期地区）</p>

事業名	当初予算額	箇所数	箇所名
			湖東管内 彦根市（安食川Ⅱ期地区、松原地区、多賀八重練地区）、多賀町（尼子池地区、木曾池地区、多賀八重練地区） 湖北地区 長浜市（大井川1期地区、早崎内湖東部地区）、米原市（東野溜地区、深谷下溜地区、神戸溜地区、入江干拓Ⅲ期地区、入江Ⅴ期地区） 高島管内 高島市（淡海2期地区、三谷・奥出ため池地区、青井川地区、鴨川地区、安曇川地区） 【調査計画等】 県内全域（4地区）
団体営農地防災事業費	356,003	25	大津・南部管内 大津市（大津9期地区、大津10期地区、大津12期地区） 東近江管内 近江八幡市（城南地区）、東近江市（中溜地区）、日野町（山王溜地区）、竜王町（山面地区） 湖東管内 彦根市（仏生寺地区） 湖北管内 長浜市（小一条地区、木尾地区、本庄地区、堀部地区、小谷上山田地区、小室2地区） 高島管内 高島市（小筑波地区） 【調査計画等】 県内全域（8地区） 【災害関連 農業用施設】 県内全域（1地区） 【災害関連 農村生活環境施設復旧】 県内全域（1地区）
県営地すべり防止対策事業費	28,550	3	大津・南部管内 大津市（雄琴・上仰木Ⅵ期地区、雄琴・上仰木1期地区） 【災害関連 緊急地すべり】 大津・南部管内 大津市（雄琴・上仰木Ⅵ期地区）

事業名	当初予算額	箇所数	箇所名
単独小規模土地改良事業費	50,000	44	県内全域（44 地区）

※記載している箇所名については、現段階での予定箇所です。

課題・目的

- 滋賀県には世界に認められた農林水産業「琵琶湖システム」が身近にあるが、多くの子どもや若者はその価値や魅力に気づいていない。
- 世界農業遺産認定を契機に、「琵琶湖システム」に関する子ども・若者の学びが生まれつつあり、自らの取組や学びの成果を発信する場を求める声が教諭等から上がっている。
- 子ども・若者が生業を体感するとともに、日ごろの学びの成果を発信したり、生産者や琵琶湖システムの関係者等と交流することにより、楽しみながらさらに学びを深める場を提供する。

事業内容(案)

体感の場の創出 (2,614千円)

●生業見学・生産者との交流

- ・自動運転機器やドローンを駆使した農作業など、カッコいい農林水産業の現場を子ども・若者を対象に体感してもらい、現在の生業を知るとともに、生産者と交流する機会とする。

学び・取組の場の創出

●出前講座等による学びや取組の支援

- ・学校や地域での「琵琶湖システム」に関する学びや取組に対して、出前講座等による支援を行う。
- ・出前講座の受講者にも生業見学・生産者との交流への参加を案内し、学びをさらに深めてもらう。

誘導

取組を
発信

次世代へつなぐ(交流)の場の創出 (1,286千円)

これまで世界農業遺産「琵琶湖システム」に関連する取組を行ってきた方々や、広く一般の方々も対象にしたイベントを開催し、取組や学びの成果を発信し、次世代へ継承する機運を高める。

●「琵琶湖システム」リレートーク

- ・小・中学生・高校生、大学生、生産者、飲食事業者などが、日ごろの取組紹介や学びの成果をリレートーク形式で発表
- ・リレートーク参加者や、参加者の取組に携わった方々、農業遺産関係者などが集まり、統一テーマを設けて、意見交換、情報提供を行う。



●ジーニアス農業遺産フードコンテスト出品作品の実演

- ・農林水産省が主催するレシピのアイデアコンテスト「ジーニアス農業遺産フードコンテスト」に出場する高校生が考案したレシピを実際に調理し、参加者や来場者に提供

●県他部局や農業遺産他地域との連携による啓発

- ・試食や体験および琵琶湖システム関連のブース出展
- ・他地域の農業遺産の展示 など

<現状と課題>

地域農業の将来を明らかにする「地域計画」は策定予定集落の96%で策定できたが、地域の課題に対して将来の方向性を十分に話し合えておらず、①担い手の農地の分散、②集落営農組織の継続が困難、③将来、担い手が不在となる地域がある、④集落をまたがる担い手の農地の利用調整や規模拡大の意向が十分に反映できていない、といった課題が残されている。

<目的・事業概要>

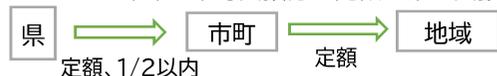
市町農政主務課、農業委員会、JA、県および担い手等からなる(仮)地域農業推進会議を市町に設置し、持続可能な地域農業の実現に向けて検討された内容に対し市町へ助成し、地域農業の維持・発展を図る。

<成果目標>

広域に担い手間の話し合いを行い農地の集積・集約化等の課題解決に取り組む地域：[R7] -地域→ [R12] 19地域以上
 農業法人数(個別経営、集落営農、企業等)：[R7] 606経営体→ [R12] 680経営体

<事業の内容>

1 つながり、つづく、みんなで守る地域農業推進事業費補助金
 (国庫:5,500千円、一財5,500千円:補助)
 事業実施主体:市町 補助率:(1)定額、(2)1/2以内※ 上限2,500千円
 ※(2)は市町支援分の同額を県が支援(補助上限1/2)



(1) 地域農業推進会議の設置による検討(必須)

市町農政主務課、農業委員会、JA、県および担い手等により、持続可能な地域農業の実現に向けて検討し、波及効果の高い集落や地域を決定し、(2)の支援事例を波及させる取組を行う。

(2) 持続可能な地域農業の実現に向けた支援

- ① 個別経営体と集落営農の連携
 例:区画拡大・省力的な草刈機のリース等、条件整備等に要する取組
- ② 集落営農組織同士の連携
 例:集落営農同士や集落内の調整のための継続的なアドバイザー派遣
- ③ 集落を超えた個別経営体間の農地の集約化
 例:継続的な支援にかかるアドバイザー派遣にかかる経費
- ④ 集落営農組織の継続
 例:新たな若手オペレーター候補の人材確保・育成

2 推進事務費(一財503千円/ふる水772千円:直執行)
 ・関係機関等への研修会等(延べ6回):報償費188千円、費用弁償74千円
 ・先進地視察(延べ3回):賃借料450千円、負担金18千円 など

<事業イメージ>

(1)地域農業推進会議の設置による検討(必須)



- ・市町、農業委員会、JA、県および担い手等で構成
- ・各市町の農地集積状況および集落営農組織の実態の共有・今後の方向性の検討
- ・持続可能な地域農業の実現に向け、担い手への支援内容の検討、波及効果の高い集落等を選定、支援事例を波及させる取組

(2)持続可能な地域農業の実現に向けた支援(イメージ)



一部作業を個別経営体に委託し、日々の管理等は集落が実施



個別経営体が集落を超えて農地を利用調整し農地の集約化の推進



集落内の若手をベテランオペレーターが指導、次世代の人材を育成

効果

市町の実情に応じた持続可能な地域農業の展開

水稲高温耐性品種生産体制強化事業 (11ページ) 当初予算額 6,383千円

<目的・事業概要>

近江米の生産振興を図り「近江米生産・流通ビジョン(第3期)」を実現するため、夏期の高温でも安定した生産が可能な高温耐性品種への転換の加速化による収量・品質の向上や、ロットの集約化による近江米のシェア拡大、実需者評価の獲得等を図り、日本有数の米どころとして、さらなる躍進を目指す。

<現状と課題>

記録的な猛暑等により、水稲作付面積の約6割を占める「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」および「秋の詩」等の収量・品質の低下が大きな問題となっている。また、米価の乱高下や流通が多様化する中、安定した品質・供給量の確保が近江米産地として強く求められている。

<成果目標>

- ① 全国の主食用米需要量に占める近江米のシェア(直近5カ年の中庸3カ年平均) [R5] 2.13 → [R12] 2.30 (単位:%)
- ② 西日本における滋賀県産米(うるち玄米)の一等米比率の順位 [R5] 10位(51.4%) → [R12] 1位(80%)

<事業の内容>

1 高温耐性品種の導入に向けた技術確立事業【県】 2,883千円

実需者のニーズに応じた新たな需要を開拓する水稲品種の育成や、高温耐性品種の導入など生産性向上のための技術の確立と普及・拡大を進める。

- (1) 新たな需要を開拓する水稲品種の育成
- (2) 地域に応じた栽培管理技術の確立と普及
- (3) 水稲の猛暑対策技術の実践・強化

2 新 高温耐性品種の生産体制強化支援事業費補助金 3,500千円 3,500千円(うち県費1,750千円)

① 生産・集荷体制強化支援事業

【JAや地域の集荷業者、1/2以内】 2,500千円

「みずかがみ」や「きらみずき」をはじめとする高温耐性品種について、安定生産の実現に向けた生産体制の強化、作付誘導等のロットの集約化に向けた集荷体制の強化、および実需者評価の向上による販売体制の強化等に必要な取組を進めるJA等を支援する。

- 生産体制 実証ほの設置、生産者への情報提供、検討会 等
- 集荷体制 玄米袋の製作や育苗および集荷体制の促進 等
- 販売体制 米卸事業者や実需者等に対する提案・評価
食味試験や炊飯適性試験、提案に必要な資材の作成 等

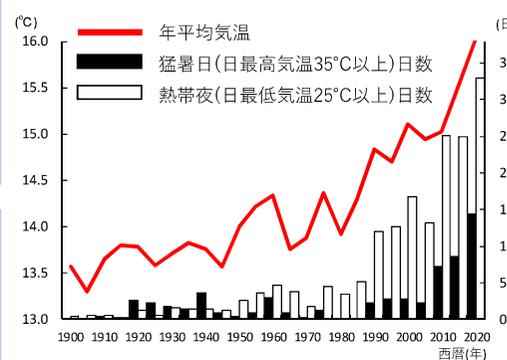
② 種子緊急確保事業【採種ほ設置JA、定額】 1,000千円

水稲高温耐性品種への転換による近江米の安定生産を図るため、短期間で優良種子の確保を進めるJA等を支援する。

例) 掛かり増し経費(異品種株の抜き取り 等)

<具体的データ>

◆ 年平均気温が100年で約1.4℃上昇。



※気象庁彦根地方気象台の気象観測データ

◆ 農産物検査の1等米比率は低迷。

	R5年産	R6年産
みずかがみ	86.6	84.3
コシヒカリ	37.2	45.7
キヌヒカリ	36.1	31.5
県域	51.4	53.3
全国	60.9	75.9

◆ 被害粒の発生



◆ 約6割を占める非高温耐性品種



酒米新品種を活用した近江の地酒振興プロジェクト (11ページ) 当初予算額 1,600千円

<目的・事業概要>

酒米新品種へ転換し作付け拡大することで、酒米の生産性と品質を向上させ蔵元の求める原料米の安定供給につなげるとともに、新品種を原料とした地酒の醸造を推進し、「GI滋賀」のブランド力強化により近江の地酒振興を図る。

<現状と課題>

近年、気候変動による夏期の高温等の影響により、酒米「吟吹雪」等の収量・品質が低下している。また、主食用価格の高騰を受け、酒米から主食用米への転換に伴う供給不足や原料となる酒米の価格高騰など酒づくりに大きな影響が生じている。こうした中、農業技術振興センターでは気候変動下でも安定した生産が可能な「滋賀酒85号」(令和7年度品種登録申請予定)を育成した。生産者や蔵元からは、新品種の導入による原料米の安定供給の実現や、「GI滋賀」の推進が求められている。

<成果目標>

- ①R9年産「滋賀酒85号」の作付面積30ha(参考:令和8年産は10haの見込み)
- ②デビューイベント参加者人数300名

<事業の内容>

農政水産部

- 1 安定生産に向けた栽培技術の確立事業** 【県】 850千円
 酒米新品種の安定生産に向け、施肥管理等の栽培技術や品種特性に応じた栽培体系の確立に取り組む。
 ◆ 安定生産に向けた栽培技術の確立(施肥管理、病害虫管理 等)

- 2 生産体制強化対策事業費補助金** 750千円
①新品種生産拡大事業 【JA、定額】 350千円
 早急な品種転換を図るため、地域に応じた栽培体系の実証に取り組む経費を支援する。
 例) 実証ほの設置、肥培試験、栽培研修会の開催 等
②新品種種子緊急確保事業 【採種ほ設置JA、定額】 400千円
 種子を緊急に確保するため、採種ほの設置を支援する。

商工観光労働部

- 3 酒造適性評価事業** 【県】 1,000千円
 新品種を原料として醸造された酒の特性を把握し、各蔵元で品種特性を最大限に発揮した酒造りのため工業技術総合センターにおいて酒造適性を評価する。
 ◆ 醸造適性の評価および特性の把握

- 4 プロモーション事業** 【県】 2,400千円
 令和8年度のデビュー年において、新品種を原料とした地酒の販売プロモーションやデビューイベントを開催し、近江の地酒の振興を図る。
 1) 新品種を原料とした地酒の販売プロモーション
 2) デビューイベントの開催

■ 栽培技術の確立

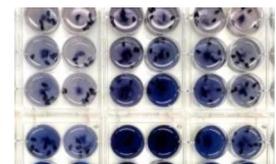


栽培研修会



玄米外観品質の調査

■ 酒造適性の評価



酒造適性の評価



試験醸造の評価

■ 近江の地酒振興



デビューイベント



プロモーションの取組



近江の地酒の振興とブランド化



持続的で生産性の高い畜産業をめざす“三方よし”の「近江牛生産」の推進 (16ページ～)

将来にわたり“選ばれる近江牛”づくりへのチャレンジ



牛よし

家畜の快適性
(アニマルウェルフェア)

- ・近江牛の担い手の育成
畜産のみらいを担う農業高校学び支援プロジェクト (1,768千円)
- ・牛の快適性向上に対する支援
農畜水産業経営強化緊急支援事業(令和7年11月補正)(120,500千円)

社会よし

環境への配慮

(耕畜連携・温室効果ガスの削減)

- ・県産稲わらと家畜ふん堆肥利用の促進
県産飼料用稲わら利用拡大事業 (1,550千円)
キャトル・ステーション運営費 (99,086千円)
- ・地域飼料や国産資源の利活用(試験研究)
飼料自給率向上に向けた黒毛和種肥育における代替飼料の活用方法の検討に関する研究 (23,843千円)
- 新 生米ぬか給与の黒毛和種繁殖雌牛における繁殖成績への効果に関する研究 (8,251千円)

人よし

安全・安心

- ・消費者ニーズに対応した近江牛づくり(おいしさの追求)
“三方よしの近江牛生産”みらいへつなぐ近江牛振興事業 (2,045千円)
- 新 産官学で挑む食味向上を目指す近江牛生産プロジェクト (7,500千円)
- ・海外や国内でのPR支援
近江牛学校給食等提供事業 (180,000千円)
近江牛インバウンド消費拡大推進事業 (24,530千円)
子ども・若者への近江牛食育推進事業 (5,200千円)



農林水産大臣登録第56号



畜産農家の経営安定対策

- ・畜産経営緊急支援事業 (66,450千円)
- ・肉用牛肥育経営安定緊急対策事業 (30,483千円)
- ・近江牛肥育素牛導入緊急支援事業 (278,272千円)

生産基盤の強化

流通力の強化

経営の安定化

地域貢献に積極的な企業等と連携し湖魚の新たな需要の創出と供給システムの確立を実現する。

- ✓ 企業側のメリット … CSRやサステナブルな取組として評価され企業価値が向上
- ✓ 水産業のメリット … 新需要に担保された物流の合理化促進と経営基盤の強化
- ✓ 消費者のメリット … びわ湖を中心とした自然を実感できる暮らしの豊かさの実現

I. 地域貢献に積極的な企業等との新結合による湖魚需要促進システムの確立

湖魚需要促進システム化事業：6,250千円

- ⇒ 企業等の地域貢献活動に活用可能なストーリー性のあるCSR活動メニューの提案
 - ・ 社員が稚魚の放流し、成長した湖魚を社食で利用
- ⇒ 従業員の満足度向上や健康増進につながる湖魚メニューの検証
 - ・ 社食等で継続して供給が可能な湖魚食材を探索

- ⇒ 企業等の地域貢献活動が見える化
 - ・ 生物多様性や脱炭素等への貢献をWEB等で発信
- ⇒ 企業と連携し従業員や地域に向けた湖魚プロモーションの実施
 - ・ びわ湖の魚・漁・食の楽しみ方を伝授

滋賀ならではの湖魚食文化に親しんで「支えて」「守る」サイクルを実現

II. 広域集荷による供給システムの安定化

湖魚供給・消費システム安定化事業：6,480千円

- ⇒ 企業等での新需要に応える供給システムの確立
 - ・ 集荷・輸送における品質確保への支援
- ⇒ 新漁協の広域性を活かした物流により供給システムの基盤を確保
 - ・ 高品質冷凍等の漁獲物の保管と企業等からの受注・配送業務への支援

III. 自然とつながる仕事の受け皿の確保

自然とつながる湖のしごと実践支援事業：14,950千円

- ⇒ 琵琶湖に関わる仕事の受け皿として、漁業者組織による相談対応・体験研修を実施
 - ・ 就業相談の受付、操業体験の機会を提供
- ⇒ 次世代型の漁業者による企業等利用者のニーズに応える漁獲と出荷をOJT方式で実践
 - ・ 資源管理と品質規格の運用による合理的な漁業を習得できるOJT型研修を実施

2030年度 目標：社食等での利用が定着
(湖魚を食べた人の割合および琵琶湖漁業漁獲量が増加)

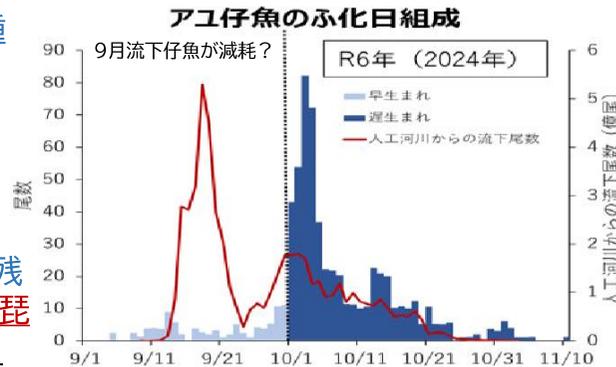
2035年度 目標：社食等に加え家庭での消費が増加・定着
(人と人が織りなす近江の食と広がる豊かさの実現に寄与)

アユ産卵用人工河川の気候変動適応化技術開発事業 (25ページ) 当初予算額 19,990千円

目的：気候変動に適応した人工河川の最適な運用方法と施設改修を探索する。

1. 課題

- ◆琵琶湖漁業にとって、アユは漁獲の約半数を占める主要魚種
- ◆気候変動(少雨、高温)の影響により、天然河川の産卵が激減(R6:平年の45%)。
- ◆この結果、人工河川の産卵数が琵琶湖全体の40%以上を占める。
- ◆しかし、気候変動で人工河川の仔魚の生残率が著しく低下。人工河川の効率向上が琵琶湖漁業を維持するための最重要課題。



2. 考えられる原因

人工河川の効率(生残率)を低くする原因として

- ①琵琶湖水温の上昇
- ②人工河川河口形状の変化
- ③プランクトン量の減少 が考えられるが…

メカニズムが分かっていないのが大きな課題

3. 事業内容 R8 ◆安曇川人工河川の現状把握と効果的な運用方法を明らかにする

①琵琶湖水温の上昇

- ・9月の琵琶湖表層水温が上昇
- ・流下したふ化仔魚が、高水温にさらされ減耗リスクあり

検証

①アユふ化仔魚追跡調査【水産試験場】

- ・琵琶湖へ流下したアユ仔魚の追跡調査
- ・耳石の日周輪解析による成長把握
- いつ流下させるとよいのか(ダメなのか)

②人工河川河口形状の経年変化

- ・琵琶湖の高水温化に適応できない
- ・河口形状の経年変化からふ化仔魚が速やかに沖合に到達していない恐れ

検証

②人工河川水動態調査【水産試験場】

- ・人工河川地形調査
- ・ふ化仔魚と流出水の動態シミュレーション
- 河川水が適切に流れ込んでいるか

③プランクトン量の減少

- ・ふ化仔魚の餌となるプランクトン(ケンミジンコ幼生)が減少
- ・餌不足の恐れ

検証

③アユふ化仔魚生育環境調査【水産試験場・琵琶湖センター】

- ・人工河川沖のプランクトン調査・解析
- ・動物プランクトンの生産量把握
- 餌不足になっていないか

リスクを明らかにするために

今回の調査のため、9月中旬にアユ仔魚が流下するよう、アユ親魚を9月上旬に安曇川人工河川に通常分に追加し放流



- ①により最適な流下時期を検証
- ②により物理環境、③により餌環境を把握

気候変動に適応した安曇川人工河川の運用方法の確立

R9

◆姉川人工河川の現状把握と効果的な運用方法を明らかにする。

R10
~11

◆両人工河川の特徴から、課題を見出し、効果的な運用方法の構築と気候変動に適応した施設改修手法を探索する。

この事業で、気候変動下での琵琶湖水産業の維持・発展に必要な人工河川を構築

農山村観光コンテンツ造成事業 (31ページ) 当初予算額 4,000千円

1 事業の目的

令和9年10月～12月のDCを見据え、前年度のプレDCにおいて提供する旅行事業者向けツアー造成用の農山村地域版素材集の作成や、一般客向け県HP「グリーンツーリズム滋賀」のDC対応整備により、旅行事業者の農山村地域での観光商品造成の促進、滋賀県の農山村地域への誘客に繋げ、地域の活性化を図る。

2 現状・課題

- ◆ 滋賀の農山村は、棚田の景観や魚のゆりかご水田をはじめとして、豊かな自然や歴史・文化、暮らしの知恵など**多くの魅力**を有している。
- ◆ 県HP「グリーンツーリズム滋賀」では県内農山村地域の様々な施設の情報を、泊まる・体験する・食べる・買う・学ぶという5つのジャンルや、地域別6エリアに分けて掲載しているが、実施期間、受入人数、料金、予約要否等の**プレDCに必要な項目**について掲載できていないほか、**JR等の交通面と結び付けたページ設計**が出来ていない。

3 事業内容【委託 4,000千円】

- ◆ 農山村地域版素材集(観光コンテンツの取りまとめ冊子)作成
 - (1)観光コンテンツの魅せ方、DC向けプランの検討。
 - (2)素材集掲載用の項目・写真等のデータ収集・取材。(目安30施設)
 - (3)素材集デザイン設計、原稿作成、印刷物作成。(20ページ冊子)
- ◆ **プレDCブースの企画**
 - (1)プレDCのブースの設計企画
 - (2)プレDC当日のブース設営・運営補助
- ◆ **滋賀県HP「グリーンツーリズム滋賀」整備**
 - (1)DC専用ページ構築。素材集掲載施設を当ページへ掲載。
 - (2)掲載施設について、最寄りJR駅と二次交通の手段(レンタカー、バス、タクシー等)で検索できるようにページを設計。
※DC公式サイトにリンクを掲載し当ページへ遷移(遷移用バナーも作成)

4 事業実施の効果

- ◆ 県内都市農村交流施設の**知名度アップ**による**利用者数の増加、収益の向上**。
- ◆ 様々な施設において観光コンテンツの磨き上げがなされ、旅行事業者に周知されることで、**農山村地域での観光ツアー造成の契機**となる。

【スケジュールイメージ】

	R7年度 (2025年度)			R8年度 (2026年度)			R9年度 (2027年度)			R10年度 (2028年度)		
	～7月	～11月	～3月	～7月	～11月	～3月	～7月	～11月	～3月	～7月	～11月	～3月
DC主要事業		<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ・素材集等作成 ・エクスカージョン設定 		プレDC 全国宣伝 販売促進 会議	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ・ガイドブック制作 ・旅行商品造成 ・招聘・販促活動 		DC本番 ・オープニング イベント ・誘客活動 ・おもてなし	DC本番の振り返り		アフターDC	DCの総括レガシー創出	
当事業			<ul style="list-style-type: none"> ・農山村地域独自の素材集の作成 ・プレDCブース企画・準備 	プレDC ブースで の素材集 PR	<ul style="list-style-type: none"> ・「グリーンツーリズム滋賀」JHPのDC対応 		DC、アフターDC期間における農山村地域への誘客 ・観光需要の増加による農山村地域の活性化					

令和8年度 一般会計当初予算案

議案書その1 (抜 粋)

債務負担行為

農政水産部

番号	事 項	期 間	限 度 額
92	離転職者等職業訓練業務 〔長期高度人材育成〕 コース	令和9年度から 令和11年度まで	98,505千円
93	障害者委託訓練業務	令和9年度	2,112千円
94	母子家庭の母等職業訓練業務	令和9年度	17,356千円
95	子育て女性等職業訓練業務	令和9年度	17,328千円
96	特定野菜等供給産地育成価格差補給資金造成費補助	令和8年度	令和8年4月1日から令和9年3月31日までの間に一般財団法人滋賀県青果物生産安定資金協会が行う特定野菜等供給産地育成価格差補給事業の価格差補給金の交付に要する経費のうち、県負担分が県繰越見込額を含む県資金準備額を超えた場合、23,524千円と県資金準備額との差額を限度として、超えた額について補助する。
97	青果物生産安定資金造成費補助	令和8年度	令和8年4月1日から令和9年3月31日までの間に一般財団法人滋賀県青果物生産安定資金協会が行う青果物生産安定事業の価格差補給金の交付に要する経費のうち、県負担分が県繰越見込額を含む県資金準備額を超えた場合、19,426千円と県資金準備額との差額を限度として、超えた額について補助する。
98	農業技術振興センター浄化槽維持管理業務	令和8年度から 令和9年度まで	3,320千円
99	ダム管理事業	令和9年度	70,000千円
100	県営かんがい排水事業	令和9年度から 令和10年度まで	1,898,500千円

番号	事 項	期 間	限 度 額
101	県営経営体育成基盤整備事業	令和9年度から 令和10年度まで	1,357,700千円
102	県営中山間地域総合整備事業	令和9年度	39,000千円
103	建設資材価格調査業務	令和9年度	22,600千円
104	農村地域地理情報システム運用管理業務	令和9年度	2,700千円
105	県営農地防災事業	令和9年度から 令和10年度まで	2,992,010千円
106	県営地すべり防止対策事業	令和9年度	60,000千円
107	水産試験場庁舎整備事業 (発注者支援業務)	令和9年度	21,430千円
108	水産試験場庁舎整備事業 (設計・建設業務)	令和9年度から 令和11年度まで	2,749,225千円
109	醒井養鱒場改修事業 〔餌付・飼育池上屋〕 A棟改修工事	令和8年度から 令和9年度まで	36,218千円
110	地方合同庁舎改修事業 〔甲賀合同庁舎空調〕 給排水設備改修工事	令和8年度から 令和9年度まで	90,900千円
111	地方合同庁舎改修事業 〔甲賀合同庁舎昇降〕 機改修工事	令和8年度から 令和9年度まで	80,726千円
112	建設業許可申請受付・ 公共工事システムデー タ入力等業務	令和8年度から 令和9年度まで	11,640千円